

取扱方中ヲ追加ス

陸軍大臣
海軍大臣
文部大臣
逓信大臣

大甲二二五

下線

大正六年七月十六日

内閣書記官長

内閣總理大臣

内閣書記官長

外務大臣



大藏大臣



海軍大臣



文部大臣

逓信大臣

内務大臣



陸軍大臣



司法大臣



農商務大臣



別紙兩院ノ議決ヲ經テル

一日本勸業銀行法中改正法律案

一農工銀行法中改正法律案

一北海道拓殖銀行法中改正法律案



公文書館

ヲ審査スルニ右ノ衆議院議長上奏ノ通
裁可ヲ奏請セラレ可然ト認ム

上諭案

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル日本勸業銀
行法中改正法律ヲ裁可シ茲之ヲ公布
セシム

御名 御璽

大正六年七月廿日

内閣總理大臣

大藏大臣

法律第十七號

(上奏ノ通)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル農工銀行
法中改正法律ヲ裁可シ茲之ヲ公布
セシム

御名 御璽

大正六年七月廿日

内閣總理大臣

大藏大臣

法律第十八號

(上奏ノ通)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル北海道拓殖
銀行法中改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ
公布セシム

御名 御璽

大正六年七月十日

内閣總理大臣
大藏大臣

法律第十九號

(上奏ノ通)

別紙奏上有之度候也

大正六年七月十四日

衆議院議長大岡育造



内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

衆議院ハ兩院ノ議ヲ經タル
日本勸業銀行法中改正法律
案ノ裁可ヲ奉請ス

大正六年七月十四日

衆議院議長大岡育造

衆議院書記官長寺田

榮



日本勸業銀行法中改正法律案

衆議院書記官長寺田榮

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第三十二條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

第三十四條中「年賦償還貸付金總高」ノ下ニ「定期償還貸付金總高」ヲ加フ

別紙奏上有之度候也

大正六年七月十四日

衆議院議長大岡育造



内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

衆議院書記官長寺田榮



衆議院ハ兩院ノ議ヲ經夕ル
農工銀行法中改正法律案ノ
裁可ヲ奉請ス

大正六年七月十四日

衆議院議長大岡育造

衆議院

農工銀行法中改正法律案

衆議院書記官長寺田榮

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十三條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

第二十六條中「控除シタル金額」ノ下ニ「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

第一十二号 奏上之度候也
第二十三号 奏上之度候也
第三十四号 奏上之度候也
第四十五号 奏上之度候也
第五十六号 奏上之度候也
第六十七号 奏上之度候也
第七十八号 奏上之度候也
第八十九号 奏上之度候也
第九十号 奏上之度候也
第九十一号 奏上之度候也
第九十二号 奏上之度候也
第九十三号 奏上之度候也
第九十四号 奏上之度候也
第九十五号 奏上之度候也
第九十六号 奏上之度候也
第九十七号 奏上之度候也
第九十八号 奏上之度候也
第九十九号 奏上之度候也
第一百号 奏上之度候也

別紙奏上有之度候也

大正六年七月十四日

衆議院議長大岡育造



内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

衆議院書記官長寺田 榮



衆議院ハ兩院ノ議ヲ經タル
北海道拓殖銀行法中改正法
律案ノ裁可ヲ奉請ス

大正六年七月十四日

衆議院議長大岡育造

北海道拓殖銀行法中改正法律案

衆議院書記官長寺田榮

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第十二條中「年賦償還貸付金總高」ノ下ニ「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

（Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the title and article number mentioned in the main text.)

第十一 對中平銀兩發付金銀高、十二 對中平銀兩發付金銀高、



一日本勸業銀行法中改正法律案

一農工銀行法中改正法律案

一北海道拓殖銀行法中改正法律案

以上帝國議會へ提出ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正六年六月十六日

內閣總理大臣伯爵寺內正毅 公

降

大甲二一五

大正六年六月十一日 內閣書記官長

內閣書記官長

內閣總理大臣 五

法制局長官

外務大臣

五

大藏大臣

五

海軍大臣

五

文部大臣

五

逓信大臣

五

內務大臣

五

陸軍大臣

五

司法大臣

五

農商大臣

五

別紙 大藏大臣 請議

一 日本勸業銀行法中改正法律案

二 農工銀行法中改正法律案

三 北海道拓殖銀行法中改正法律案

法制局

ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト思考ス
依テ請議ノ通閣議決定帝國議會ニ提
出セラレ可然ト認ム

法律案

呈案附箋ノ通

日本勸業銀行法中改正

法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正七年六月二十三日(頁一)

内閣總理大臣

大藏大臣

海軍省

農工銀行法中改正法律案

右

勅旨ヲ奉リ帝國議會ニ提出ス

明治六年六月二十日(夏)

内閣總理大臣

大藏大臣

法務局

海防局

北海道拓殖銀行法中改正

法律案

右勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正六年六月二十三日(頁八)

内閣總理大臣

大藏大臣

海防局

耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ
土地所有権者等ノ連帯責任ヲ以テ信用ヲ
申出タルトキハ其ノ連帯責任ノ一部ノ一部
依リ信用ト申出タルトキハ其ノ連帯責任ノ一部
期償還交付又ハ年賦償還交付ヲ爲スコトヲ得

産業組合・漁業組合・森林組合又ハ其ノ聯合會ニハ
抵當ヲ徴セスシテ定期償還交付若ハ年賦償還
交付ヲ爲スコトヲ得

第十六條 日本勸業銀行ニ於テ不動産抵當ヲ徴ス
ルトキハ地テ第一抵當ナルコトヲ要ス但シ舊債
アル場合ニ於テ日本勸業銀行ヨリ借入スル新債
ヲ以テ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一抵
當トナルコトヲ得ヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

日本勸業銀行ニ於テ漁業權ヲ抵當トシテ貸付スル場合ニハ有價証券又ハ不動産ヲ添擔保ニ徴ス
ルコトヲ得

第十七條 日本勸業銀行ニ於テ抵當トシテ徴スル
土地ハ永權スヘキ確實ナル利益ノ見込アルモノ
ニ限ル
日本勸業銀行ニ於テ抵當トシテ徴スル建物ハ保
險付ノモノニ限ル但シ抵當物ノ外ニ貸付金高ニ
倍以上ノ價格ヲ有スル動産又ハ不動産ヲ添擔保
ト爲ス場合ニ於テハ保險ニ付セザルコトヲ得
第十八條 不動産ヲ抵當トシテ貸付ケル金額ハ日
本勸業銀行ニ於テ鑑定シタル價格ノ三分ノ二以
内トス 漁業權ヲ抵當トスルトキ亦同シ

第十九條 年賦金ハ元金ト利子トヲ併セテ之ヲ計
算シ各年ヲ通シテ一定平等ノ償還額ヲ定ムヘ
シ

前項ノ償還額ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス但シ貸
付金ノ一部償還ノ場合ニ於テ其ノ額ヲ更定スル
ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 前條
第二十一條 貸付金ノ年賦償還ニ付キテハ一箇年
以上五箇年以内ニ於テ償還年限ヲ定ムヘシ但シ
其ノ年限間ノ利子ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ償還年限ハ相手方ノ希望ニ因リ之ヲ定メ
タルコトヲ得

第二十二條 債務者年賦金、定期償還金又ハ利子
ノ拂込ヲ遲延シタルトキハ拂込期日ノ翌日ヨリ
其ノ金額ニ對シ利子ヲ付拂フノ義務ヲ負フ

第二十三條 年賦償還ノ方法ヲ以テ借入ヲ爲シタ
ル債務者ハ償還期限前ニ借入金ノ全部若ハ一部
ヲ償還スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ日本勸業銀行ハ定款ニ於テ
定ムル所ノ率ニ依リ相當ノ手数料ヲ要求スルコ
トヲ得

第二十四條 債務者ハ借入金ノ五分ノ一以上ヲ償
還シタルトキハ其ノ割合ニ應ジ抵當物一部ノ解
除ヲ要求スルコトヲ得其ノ残額ニ對シテモ亦同
シ

第二十五條 日本勸業銀行ハ年賦金ノ拂込ヲ遲延
スル債務者ニ對シ償還期限前ト雖貸付金全部ノ
償還ヲ要求スルコトヲ得

第二十六條 日本勸業銀行ハ抵當物ノ價格減少シ
貸付金償還期限ニ對シ第十八條ノ割合ニ不足シ
生シタルトキハ増徴金ヲ要求シ若ハ其ノ不足ニ
相當スル貸付金額ノ償還ヲ要求スルコトヲ得
債務者側ノ要求ニ應ジサルトキハ日本勸業銀
行ハ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ要求ス
ルコトヲ得

第二十七條 抵當不動産ノ全部若ハ一部カ土地收
用法ニ依リ取用セラルル場合ニ於テ日本勸業銀
行ハ償還期限前ト雖貸付金ノ償還ヲ要求スルコ
トヲ得但シ債務者ニ於テ取用補償金ヲ供託シ又
ハ相當ノ不動産ヲ以テ増徴金トスルトキハ此ノ
限ニ在ラス

其ノ取用一部ニ止マルトキハ償還ノ要求モ其ノ
割合ニ應ジヘキモノトス

第二十八條 無抵當ニテ借入ヲ爲シタル府縣都市
町村其ノ他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ於テ
年賦金、定期償還金又ハ利子ノ拂込期日ヲ過キ
之ヲ拂込マサルトキ又ハ期限前ノ償還要求ニ對
シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキハ日本勸業銀行ハ監
督官ニ其ノ成分ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ日本勸業銀行ハ府縣ニ對シテ
ハ内務大臣ニ郡市町村其ノ他法律ヲ以テ組織セ
ル公共團體ニ對シテハ第一次監督官ニ其ノ請
求ヲ爲スヘシ

監督官請求ヲ受ケタルトキハ府縣都市町村其
ノ他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ命令シテ延
滞金及第二十二條ノ利子ヲ拂込マシムヘシ

第二十九條 日本勸業銀行ハ農工銀行法ニ依リ設
立シタル各農工銀行ノ發行スル農工債券ヲ引受

クルコトヲ得

第三十條 日本勸業銀行ハ農工債券ヲ引受ケムト
スル場合ニ於テ農工銀行ノ債務及財産ノ實況ヲ
調査スルコトヲ得

第三十一條 日本勸業銀行ハ農工銀行ノ所賦
償還貸付金ノ債權及其ノ擔保タル抵當權ヲ擔保
トシテ年賦償還ノ方法ニ依リ貸付金ヲ爲スコト
ヲ得

第三十二條 日本勸業銀行ハ預リ金ヲ爲シ又ハ地金銀有價證券ノ保護預リヲ爲スコトヲ得但
シ預リ金ノ總額ハ拂込資本金額ヲ超過スルコトヲ得ス

第三十三條 日本勸業銀行ハ此ノ法律ニ記載セサ
ル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第三十四條 日本勸業銀行ハ資本金四分ノ一以上
ノ拂込アリタルトキハ拂込金額ノ十倍ヲ限リ勤
業債券ヲ發行スルコトヲ得但シ年賦償還貸付金
總高及其ノ引受ケタル農工債券現在高ヲ超過ス
ルコトヲ得ス

勸業債券ヲ發行スル場合ニハ商法第九十九條
ノ規定ヲ適用セス

第三十一條ノ二 日本勸業銀行ハ預リ金ヲ爲シ又ハ地金銀有價證券ノ保護預リヲ爲スコトヲ得但
シ預リ金ノ總額ハ拂込資本金額ヲ超過スルコトヲ得ス

第三十二條 日本勸業銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外前條ノ預リ金又ハ營業上ノ餘裕金ヲ使用スルコ
トヲ得ス

一 預リ金四分ノ一以上ハ國債證券若ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ買入レ又ハ大藏
省預金部若ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ニ預入ルルコト

二 前號ノ證券又ハ農產物、水産物、工業製造品ヲ擔保トスル手形ノ割引又ハ短期貸付ヲ爲スコト

第三十五條 勸業債券ハ券面金額ヲ千圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

兩關

参照

農工銀行法

明治二十九年四月
法律第八十三號

第二章 營業

第六條

- 一 三十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トシテ貸付ヲ爲スコト
- 二 年賦償還貸付金額高ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ限リ不動産ヲ抵當トシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト
- 三 郡市町村又ハ法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ對シ無抵當ニテ本條第一號第二號ノ貸付ヲ爲スコト
- 四 耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ農工銀行土地所有權者該員力運籌責任ヲ以テ信用ヲ申出タルトキ本條第一號ノ貸付ヲ爲スコト
- 五 二十人以上ノ農業者又ハ工業者申合セ連帯責任ヲ以テ信用ヲ申出タルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限リ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコト

耕地整理組合ヨリ信用ヲ申出タルトキ又ハ共同施行者

第六條ノ二 工場財團及工場ニ屬スル敷地又ハ建物ヲ除クノ外市制施行地及勅令ヲ以テ指定スル市街地ニ存在スル宅地又ハ建物ヲ抵當トスル貸付金額ハ拂込資本金額及農工債券發行額ノ四分

ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス
第七條 前條ノ貸付ハ勅令ヲ以テ指定スル地方ニ限り拂込資本金額及農工債券發行額ノ四分ノ三迄之ヲ増加スルコトヲ得

第七條ノ二 農工銀行ハ第六條第二號ノ制限内ニ於テ漁業權ヲ抵當トシ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得

第七條ノ三 産業組合聯合會又ハ産業組合聯合會ニ加入スル産業組合ハ無抵當ニテ第六條第一號又ハ第二號ノ貸付ヲ爲スコトヲ得漁業權聯合會又ハ漁業權聯合會ニ加入スル漁業權聯合會亦同

第八條 農工銀行ニ於テ不動産抵當ヲ爲スルトキハ該不動産ノ第一抵當ナルコトヲ要ス但シ該不動産ノ合ニ於テ農工銀行ヨリ借入スル新債ヲ以テ其ノ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一抵當トナルコトヲ得ヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

農工銀行ニ於テ漁業權ヲ抵當トシテ貸付クル場合ニハ有價證券又ハ不動産ヲ添擔保ニ徵スルコトヲ得

第九條 農工銀行ニ於テ抵當トシテ貸付クル土地ハ永続スヘキ確實ナル收益ノ見込アルモノニ限ル農工銀行ニ於テ抵當トシテ貸付クル建物ハ保險付ノモノニ限ル但シ該建物ノ外ニ貸付金額二倍以上ノ價格ヲ有スル動産又ハ不動産ヲ添擔保ト爲ス場合ニ於テハ保險ニ付セザルコトヲ得

第十條 不動産ヲ抵當トシテ貸付クル金額ハ農工銀行ニ於テ規定シタル價格ノ三分ノ二以内トス

第十一條 年賦金ハ元金ト利子トヲ併セテ之ヲ計算シ各年ヲ通シテ一定平等ノ償還額ヲ定ムヘシ

漁業權ヲ抵當トスルトキ亦同

前項ノ償還額ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス但シ貸付金ノ一部償還ノ場合ニ於テ其ノ額ヲ更定スルハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 土地抵當貸付ノ年賦金ハ其ノ土地ノ所在地ノ年賦金率ノ二倍ノ額トシテ之ヲ得

第十三條 貸付金ノ年賦償還ニ付キテハ一箇年以上五箇年以内ニ於テ年賦年率ヲ定ムヘシ但シ其ノ年限同ノ利子ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 債務者年賦金定期償還金又ハ利子ノ拂込ヲ遅延シタルトキハ拂込期日ノ翌日ヨリ其ノ金額ニ對シ利子ヲ仕拂フノ義務ヲ負フ

第十五條 年賦償還ノ方法ヲ以テ借入ヲ爲シタル債務者ハ償還期限前ニ借入金ノ全部若ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

第十六條 債務者ハ借入金ノ五分ノ一以上ヲ償還シタルトキハ其ノ割合ニ應ジ抵當物一部ノ解除ヲ要求スルコトヲ得其ノ種類ニ對シテモ亦同シ

第十七條 農工銀行ハ年賦金ノ拂込ヲ遅延スル債務者ニ對シ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第十八條 農工銀行ハ抵當物ノ價格減少シ貸付金償還殘額ニ對シ第十條ノ割合ニ不足ヲ生シタルトキハ増抵當ヲ要求シ若ハ其ノ不足ニ相當スル貸付金額ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第十九條 抵當不動産ノ全部若ハ一部カ土地取用トヲ得

内閣

法ニ依リ取用セラルル場合ニ於テ農工銀行ハ償還期限前ト雖貸付金ノ償還ヲ要求スルコトヲ得但シ債務者ニ於テ取用ノ補償金ヲ供託シ又ハ相當ノ不動産ヲ以テ増抵當トスルトキハ此ノ限ニ在ラス
其ノ取用一部ニ止マルトキハ償還ノ要求モ其ノ割合ニ應スヘキモノトス

第二十条 無抵當ニテ借入シタル都市町村其ノ他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ於テ年賦金ノ定期償還金又ハ利子ノ拂込額日ヲ過キ之ヲ拂込マサルトキハ農工銀行ハ監督官廳ニ其ノ處分ヲ請求スルコトヲ得
監督官廳前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ都市町村其ノ他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ命令シテ延滞金及第十四條ノ利子ヲ拂込マシムヘシ

第二十一条 省債
第二十二條 農工銀行ハ定期預リ金ヲ爲シ又ハ地金銀有價證券ノ保證預リヲ爲スコトヲ得

但シ定期預リ金以外ノ預リ金ノ總額ハ拂込資本金額ヲ超過スルコトヲ得ス
第二十三條 農工銀行ハ左ノ方法ニ依ルノ外前條ノ預リ金又ハ營業上ノ餘裕金ヲ使用スルコトヲ得ス
一 預リ金四分ノ一以上ハ國債證券若ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ買入レ又ハ大藏省預金部若ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ニ預入ルルコト

二 前號ノ證券又ハ農産物、水産物、工業製造品ヲ擔保トスル手形ノ割引又ハ短期貸付ヲ爲スコト但シ定期預リ金ハ第六條各項ノ貸付ニ使用スルコトヲ得

第二十四條 農工銀行ハ日本勸業銀行ノ代理店タルコトヲ得

農工銀行ハ府縣都市ノ爲ニ其ノ金融出納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

農工銀行ハ日本勸業銀行ノ貸付ヲ代理シタル場合ニ於テハ日本勸業銀行ニ對シ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

農工銀行ハ年賦償還貸付金ノ擔保及其ノ擔保タル抵當權ヲ擔保トシテ日本勸業銀行ヨリ年賦償還ノ方法ニ依リ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 農工銀行ハ此ノ法律ニ記載セザル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第三章 農工債券

第二十六條 農工銀行ハ資本金四分ノ一以上ノ拂込アタルトキハ拂込金額ノ五倍ヲ限リ農工債券ヲ發行スルコトヲ得但シ年賦償還貸付金總高ヨリ第二十四條第四項ニ依リ買入タルモノヲ控除シタル金額ヲ超過スルコトヲ得ス

農工債券ハ券面金額ヲ十圓以上トシ無記名利札付トス但シ應募者若ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得
農工債券ヲ發行スル場合ニハ商法第百九十九條ノ規定ヲ適用セス

内閣

参照

北海道拓殖銀行法

明治三十二年三月
法律第七十六號

第三章 營業

- 第七條 北海道拓殖銀行ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス
- 一 三十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付
- 二 五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トスル貸付
- 三 北海道拓殖ヲ目的トスル株式會社ノ株式債券ヲ買トスル貸付及其ノ社債券ノ應募引受
- 四 爲替、寄爲替及北海道ノ產物ヲ擔保トスル貸付
- 五 預り金及保證預り金
- 六 手形ノ割引

第八條 銀行ノ業務代理

拓殖銀行ハ前項第四號ニ依リ外仍北海道ノ產物ノ貯蓄ヲ主トシ目的トスル倉庫内ニ貯蓄スル產業上必要ノ貨物ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ得

漁業權ヲ抵當トシテ貸付クル場合ニハ有價證券又ハ不動産ヲ添擔保ニ徵スルコトヲ得

内
關

第八條 北海道開拓村制ヲ施行セル區町村及其ノ他法律ヲ以テ組織セル北海道ノ公共團體ニ對シ北海道拓殖銀行ハ無擔保ニテ年賦若ハ定期償還

ノ方法ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得
耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合ヨリ借用ヲ申出テタルトキ又ハ共同施行者カ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出テタルトキハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

二十人以上ノ農業者又ハ工業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出テタルトキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限リ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

産業組合、漁業組合、森林組合又ハ其ノ聯合會ニハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得
第八條ノ二 北海道拓殖銀行ハ前二條ニ依ルノ外預リ金ヲ以テ國債證券又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ擔保トスル手形、割引又ハ短期貸付ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ金額ハ第七條第一項第十號及第十一號ニ依リ算出スル額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條ノ三 第七條第一項第三號第四號第六號、同條第二項及前條ノ事業ニ使用スヘキ金額ハ第七條第一項第一號第二號及第八條ニ依リ貸付金總額ノ三分ノ二ヲ超過スルコトヲ得ス

第九條 北海道拓殖銀行ハ營業上餘積金アルトキハ國債證券地方債證券又ハ社債券ヲ買入ルルコトヲ得

第十條 北海道拓殖銀行ハ此ノ法律ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

(但シ樺太ニ於テ營業業務ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス)

第十一條 北海道拓殖銀行ハ第七條第一號及第二號ノ貸付ヲ爲シタル場合ニ於テ債務者カ貸付ノ目的ニ反シ貸付金ヲ使用シタルトキハ償還期限前ハ其ノ貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第四章 債券
第十二條 北海道拓殖銀行ハ拂込資本金額ノ五倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得但シ第七條第一項第十號及第十一號ノ貸付金總額ヲ超過スルコトヲ得ス

債券ハ券面金額ヲ十圓以テトシ
無記名利付トス但シ存案者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト為スコトヲ得

債券ヲ發行スル場合ハ商標等百九十九條ノ規定ヲ適用セス

資本金 231分

拂込資本金 10倍

勸業債券發行高

差引發行餘力

勸業債券發行餘力調 (大正六年五月末日現在)

250.000.000

213,895,700

36,104,300

貸付金 231分

年賦貸付金

保證付年賦貸付金

特別擔保年賦貸付金

農工債券引受高

計

勸業債券發行高

74,296,983

139,456,890

30,790,000

462,000

214,523,796

213,895,700

差引發行餘力
 定期貸付金
 保證付定期貸付金
 計 (改正案係力)

六三〇。七六
七三一。九一。七
一五八八。二八〇
九五三七。四六三

拓殖債券發行餘力調 (大正六年四月末日現在)
 資本金ニヨル分
 拂込資本金、五倍
 拓殖債券發行高
 差引發行餘力

二五〇。〇。〇。〇
二一。一九六。五四。〇
三八〇。三。四六。〇

貸付金ニヨル分
 年賦貸付金
 拓殖債券發行高
 差引發行額超過 (但し前年格差あり)
 定期貸付
 計 (改正案係力)

二一。一。〇。二。〇。六八
二一。一九六。五四。〇
九四。四。七。二
一五七。二。七。四。七
一五七。二。七。四。七
一五七。二。七。四。七

勸業債券發行餘力調 (大正六年三月末日現在)

資本金ニヨル分

拂込資本金十倍

勸業債券發行高

差引發行餘力

二五〇、〇〇〇、〇〇〇 円
二一〇、六八二、六五〇
三九、三一七、三五〇

貸付金ニヨル分

年賦貸付金

保證附年賦貸付金

特別擔保年賦貸付金

農工債券引受高

計

勸業債券發行高

七三、五八七、三四七 円
一三九、七九三、四一〇
三一、六四〇、三
四六、五〇、三四
二一四、一六六、一九四
二一〇、六八二、六五〇

差引發行餘力

定期貸付金

保證付定期貸付金

計(改正原簿保力)

三、四、七、九、五、四、四

六、六、八、四、七、三、八

一、三、八、五、七、八、〇

一、〇、五、五、〇、〇、六、二

拓殖債券發行餘力調(大正六年三月末日現在)

資本金ニヨル分

拂込資本金、五倍

拓殖債券發行高

差引發行餘力

二、五、〇、〇、〇、〇、〇

二、一、二、四、七、三、四、〇

三、七、五、六、六、〇

貸付金ニヨル分

年賦貸付金

拓殖債券發行高(但し多量債還未済額)

差引發行超過

定期貸付金

計(改正原簿保力)

二、〇、八、三、五、七、四、七

二、一、二、四、七、三、四、〇

四、一、一、五、九、三

一、五、四、五、二、九、〇

一、五、四、五、二、九、〇

農工債券發行餘力調

(大正六年三月末日現在)

資本金三〇九分

拂込資本金五倍

農工債券發行高

差引及發行餘力

貸付金三〇九分

年賦貸付金

特別擔保借入金

差引

農工債券發行高

差引發行餘力

二三八、九四五、〇〇〇

九七、二六二、九四〇

一四一、六八二、〇六〇

一五一、七〇〇、八四九

三一五、四七八

一五一、三八五、三七一

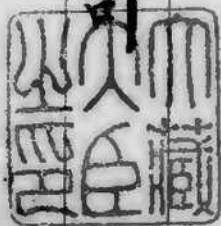
九七、二六二、九四〇

五四、一二二、四三一

陸軍部 二三〇号

日本勸業銀行、農工銀行及北海道
 拓殖銀行ヲシテ産業組合ニ對ス
 ル資金ノ融通ヲ便ナラシメ併テ
 債券發行力ヲ増加セシムルノ必
 要ヲ認ム依テ別紙改正法律案竝
 理由書相添ヘ茲ニ閣議ニ提出ス
 大正六年五月二十六日

大藏大臣勝田主計



大甲一一〇

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

大
和
藤

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第三十二條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ年形

ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ為スコト

第三十四條ニ中「年賦償還貸付

金總高ノ下ニ定期償還貸付金總高ヲ

加フ

日本勸業銀行法中改正法律案理由書

日本勸業銀行ヲシテ産業組合ニ對スル資金
ノ融通ヲ便ナラシメ且、勸業債券ノ發行力
ヲ増加セシムル爲日本勸業銀行法中改正ヲ要スルモノ
ト提出スル所以ナリ

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十三條 左ノ一辨ヲ加フ

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シテ

形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ為スコ

ト

第二十六條中「控除シタル金額」ノ下ニ「及定期

償還貸付金總高」ヲ加フ

農工銀行法中改正法律案理由書

農工銀行ヲシテ産業組合ニ對スル資金ノ融
通ヲ便ナラシメ且、農工債券ノ發行力ヲ増加
セシムルカ爲農工銀行法中改正案ヲ提出スル所以ナ
リ

刑部省

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス
第十三條中「年賦償還貸付金總高」ノ下ニ
「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

大藏省

冊
藏
省

北海道拓殖銀行法中改正法律案理由書

北海道拓殖銀行ヲシテ、
債券ノ發行力ヲ増加セシムルカ爲北海道拓殖銀行法中本
案ヲ提出スル所以ナリ

冊

藏

省

北海道拓殖銀行法中改正法律案理由書

北海道拓殖銀行ヲシテ、
、債券發行力ヲ増殖銀行法中改正ヲ要スルモノアリ是レ本
案ヲ提出スル所以ナリ

六
蔵
省

日本勸業銀行法中改正法律案

冊
第
一
卷

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第三十二條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

第三十四條中「年賦償還貸付金總高」ノ下ニ「定期償還貸付金總高」ヲ加フ

日本勸業銀行法中改正法律案理由書

日本勸業銀行ヲシテ産業組合ニ對スル資金ノ融通ヲ便ナラシメ且勸業債券ノ發行力ヲ増加セシムルカ
爲日本勸業銀行法中改正ヲ要スルモノアリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

農工銀行法中左ノ通改正ス

第二十三條ニ左ノ一號ヲ加フ

三 産業組合又ハ其ノ聯合會ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

第二十六條中「控除シタル金額」ノ下ニ「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

農工銀行法中改正法律案理由書

農工銀行ヲシテ産業組合ニ對スル資金ノ融通ヲ便ナラシメ且農工債券ノ發行力ヲ増加セシムルカ爲農
工銀行法中改正ヲ要スルモノアリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第十二條中「年賦償還貸付金總高」ノ下ニ「及定期償還貸付金總高」ヲ加フ

北海道拓殖銀行法中改正法律案理由書
北海道拓殖銀行ヲシテ債券ノ發行力ヲ増加セシムルカ爲北海道拓殖銀行法中改正ヲ要スルモノアリ是
レ本案ヲ提出スル所以ナリ